

竜谷福祉だより
 第20号
 竜谷福祉委員会
 広報部

障害者自立支援事業に携わって

マルキクラフト 長尾 真奈美

障害者支援自立事業所のマルキクラフトは、平成三十年夏から桑谷町に移転し、地域の方に支えて頂きながら活動しています。主な活動としては、手織り生地を使っ

たかばんと小物の作製、販売です。織り機が三台あり、糸選びから織り機のセット、織り作業、ミシン縫製まで利用者さんとスタッフで協力しながら行っています。

手織り生地ならではの、既製品にはないようなデザイン、質感を楽しんでいた

だけるかばんです。おかげさまで多くの方に気に入っていただき、ハンドメイドイベント、百貨店での出店、またネットでの販売も好調です。

また織り体験教室も行っており、自分で織った生地をかばんに加工するサービスが好評です。

これからも物作りの楽しさを感じていただけるような製品を、この自然豊かな環境で作っていきたいとおもいます。



日本の未来を託す子らとともに

一般社団法人練心館道場 理事 東浦 至孝

練心館道場は、今から四十八年前に現在の場所に山本栄先生が地元の子どもたちの健全育成を目標に設立されました。当時は剣道と空手の道場であり、現在の総合学習教室の形に受け継ぎ十年ほどが過ぎています。当時の山本先生の意思を引き継ぎ、現在も青少年の健全育成を目標に学習教室を始め、「運動を通じた総合学習教室」として運営しています。

子どもたちを取り巻く環境は、五十年前とは全く別物になっています。放課後に外遊びをする子どもを学区内でも見ることはほとんどありません。学校の部活動は縮小傾向にあり、数年後には部活動は学校の活動から完全に切り離されることが予想されます。

スポーツは人生を豊かにすることが出来る大切な手段です。日本の未来を背負っていく子どもたちには心身を鍛えることで健康で丈夫な身体を手に入れ、望んだ未来を過ごして欲しいと強く思います。

これからも子どもたちに「昨日できなかったことが今日できるようになる！」という視点を大切に、日々子どもたちの勉強や運動に元気な声が響く道場でありたいと考えています。

地域の皆様にはそんな子供たちを見かけた際には、ぜひ応援していただければと思います。



NHK大河ドラマ『どうする家康』の放映に因んで、徳川家とゆかりのある学区内の2つの仏閣をご紹介します。(岡崎観光きらり百選に選ばれている)

長福寺

竜泉寺町新田の名鉄バス停から東へ徒歩で二分程行ったところに「海雲山弘誓院長福寺」があります。竹でしつらえた山門をくぐり参道を行くと「海雲山」の扁額が掲げられた中門に至ります。

中門をくぐると正面に一段高く本堂が古刹らしい佇まいで来訪者を出迎えます。

その昔、この寺は鳳来寺の末寺として天台宗であったが、一三一八年、日蓮の弟子日印が京都に上る途中この寺に立ち寄り、法華宗に改宗、以後法華宗を宗派とする。

一五四七年、大久保家初代宇津(後に大久保と改姓)忠茂が当寺に埋葬され、以後大久保家の菩提寺となった。この大久保家からは、忠世、忠佐の二名が徳川十六神将

に名を連ね大いに武勇を發揮し、徳川の発展に寄与した。また、「彦佐」の名で親しまれる大久保彦左衛門忠教は、旗本に列せられ「天下の御意見番」として家康の諮問によくこたえた。また忠教は、家康・秀忠・家光と徳川三代將軍に仕え、「三河物語」を著した。



大久保家の祖初代忠茂の墓



大久保彦左衛門忠教の墓



廣忠寺

寺名が示すとおり家康の父松平広忠公ゆかりの寺であります。山号を「瑞雲山」といい曹洞宗の寺として一五六二年に開基されました。

一五四一年、松平家八代広忠は大給松平和泉守乗正の娘（お久）との間に長男勘六（後の松平忠政）を儲けました。同年、広忠は三河刈谷城主水野忠政の娘（於大の方）を正室として迎えることとなり、この為勘六を一時岩津に住まわせ、その後桑谷村に別荘を構えここに移しました。

翌年、於大の方は竹千代（家康）を生み、お久は竹千代が誕生した同日に、広忠の子を出産。名を「エイ新」と名付けられ僧侶として生きるようになります。一五四九年、広忠の急死によりお久は妙琳尼となり、二人の子とともに桑谷村で静かに暮らしていました。一五六一年、家康家臣酒井政家は家康の命により西

尾城を攻めることになり、この時桑谷に隠れ住む忠政を家康に引き合わせ、家康は忠政に兵十一騎を与え従軍させた。攻略した西尾城には在番として忠政を置く。翌年（一五六二）家康は、西尾へ行く途中桑谷村に立ち寄り父の位牌に拝礼し寺堂建立を決めた。異母弟エイン新を住職とし、寺号を広忠寺と命名しました。本堂奥には広忠、お久、忠政が静かに眠る墓がある。



左より忠政公、広忠公、妙琳尼（お久の方）の墓

令和4年を振り返って — 福祉委員会の活動記録 —

4/13 総会開催

4/27 第1回委員会開催

令和4年度の事業・活動方針について検討会議

5/11 新福祉委員への研修会開催 (写真上)

新福祉委員に委員会活動方針等を説明

6/11 委員会設立20周年記念行事開催 (写真中)

「委員会設立20周年記念誌」を発行し関係者に配布
(H.Pにも掲載)

7/13 ごまんぞく体操交流会開催

学区4か所の体操リーダーが集まり活動状況を報告

9/21 安全講話・避難訓練を開催

岡崎市防災課、市民病院看護局による講話受講

5/1/25 ミソ端会議開催

岡崎市地域福祉計画、新たな取組に向けて

3/22 委員会開催 (予定)

次年度の事業・活動方針について検討

ふれあい健康仲間講座開催

6/15 第1回 お口の健康と予防 保健所健康推進員

8/17 第2回 体の総合診断 岡崎市長寿課

10/19 第3回 ボッチャ大会開催 (写真下)

12/21 第4回 コロナ禍だからこそその健康づくり



福祉委員会設立20周年記念誌発行に伴い、令和3年度に発行する“福祉だよりほのぼの19号”については休刊としました。従いまして令和4年度発行の福祉だよりは第20号として発行しました。

編集後記

御多忙の中、紙面作成にご協力いただきました皆さまには感謝申し上げます。▼竜谷学区福祉委員会は平成十五年に委員会を立ち上げ、今年度二十周年を迎えました。これもひとえに学区の皆様方のご支援ご協力があったればこそ迎えられた二十年であったと感謝申し上げます。▼二十周年記念事業として「パネル展示による福祉委員会二十年の歩み回顧録展」と「趣味の作品展」を開催し多くの方にご来場いただきました。また同時に「津軽三味線の生演奏会」を開催し皆様にお楽しみいただきました。▼さて平成五年度から二十一年目の福祉委員会活動がスタートします。心機一転、また新たな気持ちで委員会活動を続けてまいります。今後とも委員会活動へのご参加とご協力を、よろしくお願ひ申し上げます。

令和5年4月1日

竜谷学区福祉委員の永井文代さん、岡崎市社会福祉協議会より表彰される

永井さんは、竜谷学区福祉委員会設立当初から今日にいたるまで20年間にわたり福祉委員として地域活動に寄与され、また福祉委員活動以外にも竜寿会あるいは社教主催の行事などに積極的に参加されています。

その貢献度が認められ令和5年2月22日岡崎市社会福祉協議会より表彰を授与されました。受賞おめでとうございます。



竜谷学区福祉委員会、愛知県社会福祉協議会より表彰授与

学区福祉委員会は、永年にわたり地域活動に貢献したということで、令和4年12月22日愛知県社会福祉協議会より表彰を授与しました。

民生委員、児童委員など個人表彰が多数を占めるなか、団体表彰として県内に数多く存在する福祉委員会の中から唯一、竜谷学区福祉委員会が選ばれました。

これは福祉委員会の活動のみが評価されたのではなく、竜谷学区の皆様が評価されたものでありまことに喜ばしい限りであります。この栄誉に恥じないよう今後も皆様方とともに、地域に根差した活動を行ってまいりたいと思います。



昨年度、福祉委員会設立二十周年を迎え、記念事業として「竜谷学区福祉委員会設立二十周年記念誌」を発行しました。(写真右)